

(1)

$$\frac{y(t)}{x(t)} = 3 \sqrt{\frac{1-t}{1+t}} = 3 \sqrt{\frac{2}{1+t}} - 1$$

$\frac{2}{1+t}$ は $-1 < t \leq 1$ において単調減少であるから、 $\frac{y(t)}{x(t)}$ も単調減少である。(証明終)

(2)

$$f(t) = \sqrt{\{x(t)\}^2 + \{y(t)\}^2} = \sqrt{(1+t)^3 + 9(1+t)^2(1-t)} = (1+t)\sqrt{10-8t}$$

$$f'(t) = \sqrt{10-8t} + (1+t) \cdot \frac{(-8)}{2\sqrt{10-8t}} = \frac{10-8t-4(1+t)}{\sqrt{10-8t}} = \frac{6(1-2t)}{\sqrt{10-8t}}$$

$f(t)$ の増減は右の通りで、 $t = \frac{1}{2}$ のとき極大である。

最大値は $f\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{3}{2}\sqrt{6}$ ……(答)

t	-1	…	$\frac{1}{2}$	…	1
$f'(t)$		-	0	+	
$f(t)$		↗		↘	

(3)

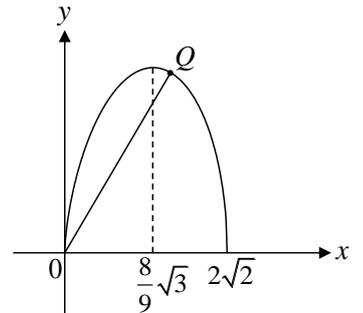
$-1 \leq t \leq 1$ において、 $x(t)$ は単調増加。

$$y'(t) = 3\sqrt{1-t} - \frac{3(1+t)}{2\sqrt{1-t}} = \frac{6(1-t) - 3(1+t)}{2\sqrt{1-t}} = \frac{3(1-3t)}{2\sqrt{1-t}}$$

であるから、

$y(t)$ は $-1 \leq t \leq \frac{1}{3}$ のとき単調増加、 $\frac{1}{3} \leq t \leq 1$ のとき単調減少。

C の概形は右図のようになる。



$f(t)$ の最大値を与える P を、 Q とする。(2) より、原点を中心として D を時計回りに

90° 回転させるとき、線分 OQ が通過する部分は、半径 $\frac{3}{2}\sqrt{6}$ の扇型になる。

求める面積は、 D の面積と、半径 $\frac{3}{2}\sqrt{6}$ 、中心角 90° の扇型の面積の和である。

D の面積は

$$\begin{aligned} \int_0^{2\sqrt{2}} y dx &= \int_{-1}^1 y \frac{dx}{dt} dt = 3 \int_{-1}^1 (1+t)\sqrt{1-t} \cdot \frac{3}{2}\sqrt{1-t} dt = \frac{9}{2} \int_{-1}^1 (1+t)\sqrt{1-t^2} dt \\ &= 9 \int_0^1 \sqrt{1-t^2} dt + \frac{9}{2} \int_{-1}^1 t\sqrt{1-t^2} dt \end{aligned}$$

$t\sqrt{1-t^2}$ は奇関数であるから、 $\int_{-1}^1 t\sqrt{1-t^2} dt = 0$ 。 $\int_0^1 \sqrt{1-t^2} dt$ は、半径 1 の円の面積の $\frac{1}{4}$ に等しいから、

求める面積は $9 \cdot \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2} \cdot \left(\frac{3}{2}\sqrt{6}\right)^2 \cdot \frac{\pi}{2} = \frac{9}{4}\pi + \frac{27}{8}\pi = \frac{45}{8}\pi$ ……(答)

